Partial translation of JP 4-107483 U

...omitted...

[Claim of Utility Model]

[Claim 1] A multi-hole injector including a plurality of injection holes branching off from one jet flow passage, and an air supply passage for supplying assist air to each of the injection holes, wherein a plurality of outlets of said air supply passage are provided at approximately equal spacings on a circumference of said injection holes.

[Claim 2] The multi-hole injector as recited in claim 1, said plurality of outlets of said air supply passage are arranged in the vicinity of outlets of said injection holes.

...omitted...

(19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出顧公開番号

実開平4-107483

(43)公開日 平成4年(1992)9月17日

(51) Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

F02M 69/04

G 8514-3G

審査請求 未請求 請求項の数2(全 3 頁)

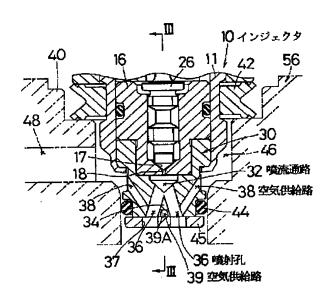
		The second secon	
(21)出願番号	実願平3-18321	(71)出願人 000116574	
		愛三工業株式会社	
(22) 出願日	平成3年(1991)3月1日	愛知県大府市共和町一丁目	1番地の1
		(72)考案者 岡田 隆	
		愛知県大府市共和町一丁目	1番地の1 愛
		三工業株式会社内	
		(72)考案者 青木 恒明	
		愛知県大府市共和町一丁目	1番地の1 愛
		三工業株式会社内	
		(72)考案者 牧村 敏朗	
		愛知県大府市共和町一丁目	1番地の1 愛
		三工業株式会社内	
			0.81
		(74)代理人 弁理士 岡田 英彦 (夕	-2名)

(54) 【考案の名称】 多孔式インジエクタ

(57)【要約】

【目的】 アシストエアによる噴射燃料の噴射孔壁面へ の押しつけによる微粒化の低下を改善する。

【構成】 インジェクタ10のアダプタ30に、一つの 噴流通路32から分岐された2本の噴射孔36が形成さ れている。前記アダプタ30に第1空気供給路38と第 2 空気供給路 3 9 が設けられ、それらの出口が対向状に 配置されている。第1空気供給路38の出口から噴出孔 36内に供給されるアシストエアと、第2空気供給路3 9の出口から噴出孔36内に供給されるアシストエアに よって、その燃料が噴射孔36の中央に向けて吹き寄せ られることで、燃料が噴射孔36の壁面に押しつけられ ることがなくその微粒化が促進される。



.

(2)

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 一つの噴流通路から分岐された複数本の噴射孔と、その各噴射孔にアシストエアを供給するための空気供給路とを備える多孔式インジェクタにおいて、前記空気供給路の出口が前記噴射孔の円周上にほぼ等間隔で複数個設けられた多孔式インジェクタ。

【請求項2】 前記空気供給路の複数個の出口が前記噴射孔の出口近傍に配置されている請求項1記載の多孔式インジェクタ。

【図面の簡単な説明】

【図1】インジェクタの要部断面図である。

【図2】キャップを取り外したアダプタの端面図である。

【図3】図1のIII-II線断面図である。

【図4】 インジェクタ全体の断面図である。

【図5】アシストエアの流れの略体説明図である。

【図 6】エンジンにおけるインジェクタ周辺部の断面図である。

【図7】 同平断面図である。

【図8】従来のインジェクタの要部断面図である。

【符号の説明】

10 インジェクタ

10 32 噴流通路

36 噴射孔

38,39 空気供給路

